

〈凡 例〉

○ 土壤測定結果

県及び各市町村が実施した測定結果を取りまとめたものである。

1 測定項目

ダイオキシン類

2 測定方法

ダイオキシン類に係る土壤調査測定マニュアル（平成12年1月14日環水土第12号〔平成21年3月改定〕）

3 調査地点の区分

(1) 一般環境調査

一般環境における土壤中のダイオキシン類濃度の状況を把握するため、特定の発生源の影響をあらかじめ想定せず実施する調査

(2) 発生源周辺調査

ダイオキシン類を発生し排出する施設が一般環境の土壤に及ぼす影響を把握するため、発生源の周辺において実施する調査

4 毒性等量の算出

(1) ダイオキシン類は各異性体毎の毒性が異なるため、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算して合計した毒性等量（TEQ）により表す。

(2) 2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性への換算は、測定により得られる各異性体の濃度下記毒性等価係数（TEF）を乗じて行う。

(3) 毒性等量の算出の際の定量下限未満の数値の取扱いについて、定量下限未満の数値は0とする。

(4) pgは1兆分の1gである。

毒性等価係数（TEF）

		化合物名	TEF
PCDD (ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン)		2,3,7,8-TeCDD	1
		1,2,3,7,8-PeCDD	1
		1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.1
		1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.1
		1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.1
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.01
		OCDD	0.0003
PCDF (ポリ塩化ジベンゾフラン)		2,3,7,8-TeCDF	0.1
		1,2,3,7,8-PeCDF	0.03
		2,3,4,7,8-PeCDF	0.3
		1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.1
		1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.1
		1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.1
		2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.1
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.01
		1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.01
	OCDF	0.0003	
Co-PCB (コプラナーPCB)	ノンオルトPCB	3,4,4',5-TeCB(#81)	0.0003
		3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.0001
		3,3',4,4',5-PeCB(#126)	0.1
		3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.03
	モノオルトPCB	2',3,4,4',5-PeCB(#123)	0.00003
		2,3',4,4',5-PeCB(#118)	0.00003
		2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.00003
		2,3,4,4',5-PeCB(#114)	0.00003
		2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.00003
		2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.00003
		2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.00003
		2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.00003

(1) ダイオキシン類測定結果 (一般環境)

実施機関	調査地点		検体採取日	土壌結果 (pg-TEQ/g)
県	宗像市	大井台	令和6年7月9日	0
	柳川市	大和町	令和6年7月26日	0
北九州市	門司区	吉志	令和6年11月20日	0.0030
	若松区	小石町	令和6年11月20日	0.20
	若松区	蟹住	令和6年11月20日	0.20
	八幡東区	中尾	令和6年11月20日	0.0037
	八幡西区	西鳴水	令和6年11月20日	0.019
福岡市	南区	柏原	令和6年8月20日	0.13
久留米市	久留米市	三潞町	令和6年11月11日	1.3
	久留米市	田主丸町	令和6年11月11日	0.98
八女市	八女市	星野村	令和6年10月1日	0.27
朝倉市	朝倉市	千手	令和7年1月29日	0.0036
	朝倉市	小田	令和7年1月29日	0.032
	朝倉市	三奈木	令和7年1月29日	0.0054
	朝倉市	宮野	令和7年1月29日	0.019
	朝倉市	杷木池田	令和7年1月29日	0.0090
環境基準				1000

(2) ダイオキシン類測定結果 (発生源周辺)

実施機関	調査地点		検体採取日	土壌結果 (pg-TEQ/g)
県	八女市	馬場	令和6年7月17日	0.010
	鞍手町	中山	令和6年8月6日	48
環境基準				1000